

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	11	02	04
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	埋蔵文化財	意図	適正に記録保存されるようにする。
事業内容	開発行為によって消滅する可能性がある埋蔵文化財包蔵地に対し、事前に適切な発掘調査を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和50年の文化財保護法改正で、開発行為に先立つ埋蔵文化財発掘調査が明確化され、本市では加特定地区・平和台地区・三輪野山第2地区など区画整理事業により発掘調査が増加した。平成12年の法改正では、埋蔵文化財に係る諸権限が文化庁から県教育委員会に移譲された。調査費用の標準化や出土遺物の選別化が全国的に進められた。また、民間発掘調査会社の参入により自らの発掘調査は減少した一方、民間発掘調査会社の監理業務が加わった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	発掘調査実施件数	10	9	20	件	→→
②	発掘調査面積	5611	4004	5137.50	m ²	→→	
③	発掘調査監理業務件数	1	0	0	件	→→	
④	発掘調査監理業務面積	6000	0	0	m ²	→→	
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	73,587,773	70,509,479	49,769,057
事業費(b)(円)	32,845,973	33,726,919	24,332,037
うち一般財源	30,296,973	31,129,919	21,842,037
職員給与と費(c)(円)	40,741,800	36,782,560	25,437,020
人役・職員(人)	1.70	1.30	1.10
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	28.50	27.80	17.60
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

・発掘調査実績
 確認調査 11件
 本調査 9件
 ・個人住宅建設等の小規模発掘調査が多く発生した。鯉ヶ崎・思井地区の発掘調査がほぼ終了した。
 ・調査担当者は、自分の調査現場と整理報告書刊行業務のほか、博物館業務を並行して進めなければならない状況にある。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	公共区画整理事業に伴う発掘調査を進める。	③取組の課題	新設小学校建設に伴う埋蔵文化財調査の実施
②今年度(H29)に実施した取組	区画整理担当課と密接な連絡・協議をして区画整理事業計画に即した発掘調査を実施した。	④今後(H30以降)の改善計画	調査体制の確立